



— 第20号 —

発行 / 岐阜県立恵那高等学校同窓会
所在地 / 岐阜県恵那市大井町1023-1
〒509-7201
TEL・FAX : 0573-25-0253
HP: <http://www.jyoryo.net/>
発行責任者 阿部 伸一郎

恵那地球塾本格始動

2018年に故木股健二氏(中18回)からの寄付により創設された恵那高等学校留学制度「恵那地球塾」は、1. 長期留学(1年間)、2. 短期留学(2ヶ月間)、3. 国内留学体験(3日間)の3つの事業で運用が始まり、2019年、その第一期生達が海外留学へと出かけた。彼ら、彼女らの貴重な体験はきっと今後の成長の大きな糧となることであろう。

益田 瞳

(24組 ニュージーランド)

ニュージーランドクラ イストチャーチに留学しました。現地では、色んな国の友達ができ、日本とは異なる文化に沢山触れられて充実した毎日をごせました。ホストマザーが現地住民ということもあり、ニュージーランドならではの文化に沢山触られました。

今井 陸人

(26組 ニュージーランド)

私は行ったばかりの頃はかなり心細かったです。会話もまだ上手くできないし、不安でいっぱいでした。正直、楽しむ余裕はありませんでした。そのときに助けてくれたのは、同じホームステイ先の香港から来た留学生でした。バス通学で、なかなか降りるバス停を覚えられなかったのですが、彼のおかげで助かりました。ニュージーランドでの生活にも慣れてくると、現地の人や同じ留学生の人と話す余裕も生まれ、それ以外にも日本にはない習慣など、あるいは似ているところなどを知ることができ、とても楽しかったです。最も苦痛に感じたのは、バス

タブがないことです。向こうではシャワーが主流なので、風呂に浸かる習慣はありません。逆に面白かったのは、やはり色んな国の人がいたことです。私たちと同時に16人の留学生が来たのですが、オリエンテーションの際、彼らが話しているのを見ると奇妙にも感じられ、面白かったです。



丹羽 祐人

(26組 オーストラリア)

留学に行って、初めはいろいろ大変なことが多かったのですが、積極的にコミュニケーションを取っていたら多くの人と関わられるようになり、沢山の友人が



できました。また日本ではできないような体験が多くできました。英語力も向上したと思います。楽しかったです。

後藤 怜生

(24組 ニュージーランド)

学校生活にはすぐに馴染めて、2ヶ月間ずっと楽しいまま終わりました。文化の違いや慣れないネイティブの英語にも対応できたと思います。キャンプやマウンテンバイクなどで、自然も堪能してきました。



河地 駿大朗

(25組 オーストラリア)

授業が自分で選択できるのが驚き! また、アウトドアの授業があって、ロッククライミング・トレッキング(めっちゃくちゃハード、でも楽しかった)にも行ってきました。留学は楽しかったです。自分にとってめちゃくちゃ刺激的でした。



長期留学

宮地里歩さん、小栗まほ和さんの2名は7月から1年間カナダへの長期留学の真っ最中です。2020年2月23日現在の現地からの報告です。

宮地 里歩

(21組 カナダE.Coly High School)

ホストファミリーとの関係は良好です。ホストファミリーとスキーをするのが好きです。学校では演劇クラスに入っており、迫りくるパフォーマンスに向けて設営の手伝いをしています。英語は完璧ではありませんが、上達しているのを感じ



▶スキーヒルにてホストファミリーと

恵那地球塾

第1期生からの報告

短期留学

2019年7月~9月、恵那地球塾第1期生の5名がオーストラリア・ニュージーランドへ短期留学に行ってきました。



恵那地球塾・第2期生決定!

11月19日(火)に「恵那地球塾第2期生・認定証書授与式」が行われ、今年7月から留学する皆さんに認定証書が渡されました。長期留学者はカナダまたはアメリカへ1年間、短期留学者はニュージーランドまたはオーストラリアへ2ヶ月半留学します。

留学される2期生の皆さんです

- | | |
|------------|---|
| 前列
長期留学 | 16組 佐々木紫乃、16組 丹羽美友、
26組 藤井花乃 |
| 後列
短期留学 | 16組 草野絢香、13組 工藤古侑、
15組 原 芽生、13組 前川航輝 |



友人の牧場で乗馬



ます。語彙数も増え、ユーモアを理解できるようになり、友人達の言うジョークが理解できるようになっています。

小栗 まほろ

(25組 カナダ Britte Collegiate)

ホストファミリーのことがとても好きで、家ではリラックスできます。居心地

エンパワーメント プログラム開催

12月25日(水)から3日間、本校において「恵那地球塾」エンパワーメントプログラムが実施されました。今回は昨年に続き2回目の開催でした。1年生18名、2年生13名、合計31名が参加しました。「自分の可能性を

が良く、ファミリーの一員となれてうれしいです。数人の仲の良い女友達がいいて彼女たちは牧場に住んでいて馬を飼っています。彼女たちの牧場に行くのが好きです。今学期、学校の勉強はやや難しいです。でも授業は楽しいです。カナダでの冬のアクティビティーを楽しんでいます。



信じて人生の目標を設定し、グローバルな視点をもって、主体的な態度で挑戦している若者の育成」を目的として開発されたプログラムで、海外からの留学生6名がグループリーダーとなり、すべて英語でディスカッション、プレゼンテーションを行いました。リーダーは国際色豊かで、オーストラ

リア、マレーシア、中国、ナイジェリアからの方々でした。テーマの「ポジティブシンキング」「アイデンティティ」「リーダーシップ」などについて掘り下げて討論しました。参加した生徒は3日間で大きく成長できました。

2018-2019 Student of the Year 賞

この1年間に、県レベルの大会などで優勝したり、全国大会に出場するなど、恵那高校の歴史に残る活躍をした生徒を同窓会が表彰する Student of the Year 賞。今年度は個人5名と3団体を表彰しました。令和2年2月28日の表彰式では阿部同窓会長から受賞者代表のポート

- ①後藤凱哉 (34組)
 - 令和元年度岐阜県高等学校総合体育大会ボート競技 男子シングル スカル 優勝
 - 令和元年度全国高等学校総合体育大会ボート競技 男子シングル スカル 優勝
- ②林 旺里 (31組)
 - 第74回国民体育大会少年女子舵手つきクオドルプル 出場
- ③伊藤璃胡 (34組)
 - 第43回全国高等学校総合文化祭 佐賀 総文 併句部門 参加
- ④水野智貴 (36組)
 - 日本数学コンクール 優良賞
 - 日本数学コンクール論文賞 銅賞
- ⑤與合皇介 (36組)
 - 日本数学コンクール個人戦 優良賞
 - 日本数学コンクール論文賞 銅賞
- ②卓球部
 - 令和元年度 岐阜県高校生新人卓球大会 優勝
- ③科学部
 - ロボカップジュニア・ジャパオープン2019
 - ジャパントリーグ・レスキュー部門 第3位

個人の部

- ①後藤凱哉 (34組)
 - 令和元年度岐阜県高等学校総合体育大会ボート競技 男子シングル スカル 優勝
 - 令和元年度全国高等学校総合体育大会ボート競技 男子シングル スカル 優勝

団体の部

- ①新体操部
 - 令和元年度 岐阜県高等学校校体操新人大会 新体操 女子団体 優勝



城論 壇

本年2月12日、恵那高校が指定を受けている「スーパーサイエンス・ハイスクール事業」の一環として行われた「課題研究発表会」に参加させていただきました。昨年度も参加させていただきましたが、自分が生徒の頃を思い出し、教育活動の在り様が大きく変化していることに驚き、また恵那市の学校教育が目指すことと相通じることを知り、嬉しく思いました。

近年は東濃地区では、生徒減少が加速度的に進んでおります。ここ数年東濃5市において高校1年生は平均70名ずつ生徒が減少しており、令和2年度には、恵那市・中津川市だけでも80名減少しました。この影響を受け、恵那地区で唯一6クラスであった本校が令和2年度入学生から5クラスとなりました。令和3年度には、東濃5市で高校1年生が約170名も減少します。

おりましたが、私も理科の教員をやっていましたので、自分の中の「虫」が疼いて、対照実験のことや、試行の頻度と信頼性のこと等、少し意地悪な質問をさせていただきました。答えてくれた生徒達は、内容そのものは未熟な部分もありましたが、その姿勢や述べ方が実に見事で、言い訳には聞こえない、そういう意味では、的確な対応であり、感心しました。良好にコミュニケーションする能力、論理的に説明する能力が教科学習等で培われる基礎学力と合わさって、発揮されていると思いました。かつて読んだ教育誌に「ジグソーパズル型学習からレゴ型学習へ」と、上手い例えがあったことを思い

岐卓県の教育は、世界的な視野をもち、地域社会の活性化に貢献する『地域社会人』を育成することを基本的な考え方としています。本校教育の究極の目標は、一人ひとりの生徒が将来幸せな人生を送ることが出来る力の育成とされています。自分が将来、社会のどの分野で貢献したいかを考え、選んで人生の次のステージでは何を学びたいのか、現在は何をすべきなのか、高校3年間で深く考え、実行して欲しいと考えています。さらに、学力だけでは将来の活躍が保証されないことを心に刻み、確かな学力をつけると同時にトータルな

分の身の丈以上を目指し、ひたすら憶える、がむしゃらに問題を解くというような学習方法であったという、沢山鉄砲を撃つことで、運山にも期待して、手の届く大卒はどかかというような発想でした。勿論こういう部



浮かべました。私たちが生徒の時代は、知識が豊富であり、速く正確に答えられる能力が評価されました。簡単に言えば「難問が解ける」「点数が取れる」ということです。ですから、自



他校にはないしくみがいくつも用意してあります。生徒には、教科の学習、探究学習と部活動やボランティア活動などに積極的に取り組む忙しい高校生活を求める

分も必要ですし、今も有ると思えますが、これだけでは、社会の中で自分が努力してきたことを発揮することは難しいと思います。人生100年、予測困難、AI社会等々、様々言われ

育てたい能力が育てられようとしている



育てたい能力が育てられようとしている

8校を集めた岐卓県高等学校大学進学連絡協議会の平均合格率の約2倍)。3月発売の週刊ダイヤモンド誌では、過去5年間で旧7帝大の推薦系入試合格数で

とと推測しました。瀨瀬校長先生から本校の国公立大学推薦入学の状況をうかがったことがあり、その実績に驚きましたが、こういうところにも生徒達が身につけた力が発揮されている

と推測しました。瀨瀬校長先生から本校の国公立大学推薦入学の状況をうかがったことがあり、その実績に驚きましたが、こういうところにも生徒達が身につけた力が発揮されている

と推測しました。瀨瀬校長先生から本校の国公立大学推薦入学の状況をうかがったことがあり、その実績に驚きましたが、こういうところにも生徒達が身につけた力が発揮されている

と推測しました。瀨瀬校長先生から本校の国公立大学推薦入学の状況をうかがったことがあり、その実績に驚きましたが、こういうところにも生徒達が身につけた力が発揮されている

職後もその力を発揮できることは間違いのないと思えます。

グローバル化が進む中、世界に羽ばたく生徒が出ることも期待しておりますが、自分の夢を実現し、グローバルな観点をもち、地域で活躍する生徒を一人でも多く育てることが現在の恵那高校のミッションだと考え、学力の定着に加えさまざまな取り組みを行っています。恵那高校のような普通科高校の卒業生の地域での活躍が今後の地方都市の活性化の鍵となると考えています。

今回、恵那高校と当市学校教育の教育観、指導観が太く通ずることを実感しました。この先、ぜひ連携をさせていただきたいと思えました。(高28回生)

今回、恵那高校と当市学校教育の教育観、指導観が太く通ずることを実感しました。この先、ぜひ連携をさせていただきたいと思えました。(高28回生)

今回、恵那高校と当市学校教育の教育観、指導観が太く通ずることを実感しました。この先、ぜひ連携をさせていただきたいと思えました。(高28回生)

恵那高校のミッション

恵那高等学校校長

瀨瀬 康雄

いします。そのような状況下で、本校では推薦入試でも勝負ができる生徒を育てようと取り組んでいます。また、推薦入試で合格できる生徒は就職試験でも、就

いします。そのような状況下で、本校では推薦入試でも勝負ができる生徒を育てようと取り組んでいます。また、推薦入試で合格できる生徒は就職試験でも、就

いします。そのような状況下で、本校では推薦入試でも勝負ができる生徒を育てようと取り組んでいます。また、推薦入試で合格できる生徒は就職試験でも、就

いします。そのような状況下で、本校では推薦入試でも勝負ができる生徒を育てようと取り組んでいます。また、推薦入試で合格できる生徒は就職試験でも、就

いします。そのような状況下で、本校では推薦入試でも勝負ができる生徒を育てようと取り組んでいます。また、推薦入試で合格できる生徒は就職試験でも、就

創立記念講演

「井底の蛙?」

永治 康彦 (高30回)

今年度の創立記念講演会は、本校30回生の永治康彦さんを講師としてお迎えしました。

永治さんは中津川市蛭川の出身で、恵那高校を

卒業後、海上自衛隊に入隊。護衛艦ひえい、いすずなどに乗艦されるとともに、無線工学を学ばれ、1983年、株式会社アインネットに就職。海外衛



星通信機器検査業務に従事し、KDD山口、KDD茨城、スイスPTT、シンガポールテレコムにて、衛星通信機器の現地調整を担当。その後宇宙開発業務に従事することとなり、各種衛星の開発、運用及び、試験業務を実施されてきました。

ネットもなく、自分で積極的に情報を収集しない限り、世の中のことが分からなかったたので、世の中の知識がほとんど無かったが、パイロットになろうか、船乗りになろうかという夢を持っていたことは、自分にとってとてもよかったです。また、柔道という部活動を通じ、友達も出来、全力で頑張った経験は本当に良かったと振り返っていました。

徒たちにエールを送ってくださいました。講演後、生徒からいくつかの質問がありました。「人はいつになったら月に住めるのか」という質問に対しては、建設会社も本気になって、月の素材でコンクリを作り、放射線に強い建物の研究や月と地球との間に中継基地を作ることも考えている。月に住める時は必ず来る、実現性はある、と力強く答えてくださいました。

担当された主な衛星としては「ゆり3号a」「GEOTAIL」「ふじ3号」「かけはし」「はやぶさ」「だいち」「かぐや」「あすなろ」「しずく」「はやぶさ2」「しきさい」があります。1993年にGEOTAILにて、「NASA Group Achievement Award」を受賞。2010年にははやぶさにて、文部科学大臣ならびに宇宙開発担当大臣より、はやぶさプロジェクトチームとして感謝状を送られています。

今回の講演では、主に宇宙開発に関するお話の中で、商業衛星の歴史に触れられ、永治さんがいかに多くの衛星に携わってこられたかが分かりました。お話の中で永治さんは、ご自身の高校時代について、パソコンもインター

「人工衛星の制作で何が大変だったか」という質問に対しては、どれも大変。それぞれのサブシステムには、それぞれの大変さがある。いろんな知識を持った人が集まってやっているので、それをまとめるプロジェクトマネージャーが一番大変だと答えられました。「太陽系の中では、宇宙に関するどのような可能性があるのか」という質問に対しては、太陽が行う核融合が原子力より安全である、と解答され、宇宙に興味を持ってもらって、今日は来た甲斐があったと結ばれました。

加納治五郎先生の書額の行方

昭和29年頃は

玄関正面に

校舎火災と共に

焼失か?

昨年、会報第19号に「母校柔道場に掲げられていた加納治五郎先生の書額『精力最善活用』の存在場所を知りませんか」とお願いしましたところ、高校第11回・渡辺浩通さん(中津川市蛭川在住)から次のような連絡を頂きました。

昭和29年、私が入学した当時には、玄関に入った正面階段の上に掲げてありました。非常に目につく場所で、当時の生徒全員が目にはっていると、すばらしい楷書に何となく親しみを感じておりました。当時、私は寄宿舎・愛日寮に起居しており、舎監の山内保先生(体育担当)に尋ねたところ「加納大先生の、大傑作だ」といわれて驚いたことを覚えております。確か私が3年生の秋頃、突然書額が外されて絵額に変わり残念に思いました(中略)その後は生徒の目に付く場所にはなく、多分火災で灰燼に帰したような気がします。

残念ながら、やはり昭和37年の校舎の火災と運命を共にしたようです。ご連絡ありがとうございました。

(高1回・古山 精)

令和元年度 大学入試

(2020.3.30現在)

国公立大学 84名 合格!

東北大学薬学部	合格	大阪大学外国語学部	合格
北海道大学	合格	立命館大学薬学部	合格
名古屋大学	4名 合格	同志社大学	合格
お茶の水女子大学	2名 合格	関西学院大学	2名 合格

合格した主な大学

東北大学	薬学部・薬	1名
大阪大学	外国語学部・英語	1名
北海道大学	経済学部・経済	1名
名古屋大学	法学部・法律政治	1名
名古屋大学	工学部・物理工	1名
名古屋大学	理学部	1名
名古屋大学	医学部・保健学	1名
お茶の水女子大学	文教育学部・芸術表現行動	1名
お茶の水女子大学	理学部・情報科学	1名
名古屋工業大学	工学部・情報工	2名
名古屋工業大学	工学部・生命応用化学	2名
名古屋工業大学	工学部・物理工	1名
名古屋市立大学	経済学部	1名
名古屋市立大学	人文社会学部・現代社会	1名
立命館大学	薬学部・創薬科学	1名
同志社大学	文化情報学部・文化情報	1名
関西学院大学	商学部	1名
関西学院大学	人文福祉学部・人間科学	1名

合格者数 (延べ人数)

国公立四大	84名(過年度生7名)	私立四大	371名
短期大学	7名	専門職大学	1名
医療・看護専門学校	6名	その他専門学校	2名

同窓会あれこれ

同窓会総会

恵那高等学校同窓会総会は、5月18日(土)午後から、恵那峡グランドホテルを会場に開催された。

総会に続き、同ホテルを会場に17時30分より高40回生が幹事を務める懇親会が開催された。会場入り口では100周年記念事業実行委員会よりロゴマークの投票が行われ、後日100周年記念事業ロゴマークが完成した。100周年に向けて多くの同窓生に声をかけて174名の参加者数となった。アトラクションとして恵那市役所職員でテノール歌手としても活躍している市川太一氏による公演があり、最後は大会の歌(城陵歌)を全員で熱唱し、閉会した。



東京城陵会

5月26日(日)12時から、東京霞が関ビル「東海大学校友会館」にて「東京城陵会第22回東京城陵祭」が開催され、55名が参加された。

夏目久氏(高15回)の司会で会がスタートし、物故者への黙祷、会長の伊藤和徳氏の挨拶、来賓の紹介、乾杯の後、一人ずつ自己紹介があった。阿部会長、瀧藤校長による近況報告もあり、和やかな歓談が続いた。途中にはホリプロ専務



新会長挨拶

歌を全員で斉唱し、盛会の中閉会となった。

夏目久(高15回)

東京城陵会の会長職を2019年7月に13回生の伊藤和徳氏から15回生の夏目久が引き継ぐことになりました。若い世代へのつなぎの一端を担うことができれば幸いです。

月例会を「GRILL」銀座ライオン」で原則毎月第2金曜日に(正午～午後2時)開催しています。令和2年2月7日(金)に開催しました回数が424回になりました。

東京城陵祭(第23回)をこの6月28日に「クルーズ・クルーズ銀座」にて(正午～午後3時)開催を予定しています。

同じ学窓を巣立った仲間への回生を超えた懇親が持続することが目標です。何卒宜しくお願い申し上げます。 ※6月28日の東京城陵祭はコロナウィルスのため中止となりました。

名古屋恵那高会総会

令和最初の総会が11月30日(土)午前11時30分より名古屋東急「D」ホテルにて開かれた。小坂恵那市長、

阿部同窓会長、瀧藤校長、勝中津川恵那高会会長、安田土岐市城陵会会長らにもご出席頂き、にぎやかに開催された。

名古屋大学名誉教授中尾昭公氏(18回生)より「人生100まで健康長寿」と題する有益な講演の後、楽しい懇親の場が持たれた。本年の出席者は、恵那中卒の方々がゼロとなり、最若年出席者は高40回生であり、世代交代を思わせる会となった。中締め挨拶の後、鮎澤会長より、各年の同級会名簿の提供、仲間への呼びかけの要請が為された。



土岐市城陵会総会

7月7日(日)17時から、土岐市サンモールSC 2階「竜庵」において、「第27回土岐市城陵会総会」が開催され、20名の出席者が

あった。平成30年度の会務報告・会計報告・監査報告の後、次期役員及び理事が選出され、安田光男氏(高19回)が新会長に選出された。本会からは阿部会長、中津川恵那高会からは勝会長、瑞浪恵窓会からは三宅副会長、名古屋恵那高会からは鮎澤会長、学校からは瀧藤校長が来賓として出席された。来賓祝辞の後、マイスペースによるコンサートが行われ、歌声の流れる中終始和やかに会が進み互いに懇親を深めた。最後に全員で城陵歌を合唱し閉会となった。

就任挨拶

安田光男(高19回)

同窓生の皆様、こんにちは。

このたび、令和元年度「土岐市城陵会」の総会においてご推挙を賜り、土岐市城陵会会長に就任しました安田光男でございます。同窓生の皆様におかれましては、それぞれの分野においてご活躍のことご推察申し上げます。

さて、土岐市城陵会も諸先輩のお力添えにより、こんなにちまで継続してまいりました。時はちがえど、同じ学び舎にて苦楽を共にしてお互い励ましあってきた

仲間達の集まりを大切にし、親しみを感じつつ、交流の場としての活動を願うものであります。親睦会の域は脱しませんが、これも大いに活用して、同窓会のこれからの発展にご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、母校、恵那高等学校のさらなる飛躍と同窓生の皆様のご多幸を祈念し、就任の挨拶とさせていただきます。



中津川恵那高会(重蘇会)総会

11月23日(土)午後6時10分から、中津川市「勝宗」において、「第66回中津川恵那高会(恵蘇会)総会」が開催された。参加者全員による校歌斉唱、会長挨拶、来賓挨拶に続き、定期総会報告、および今年度の活動方

叙 勲

長嶋 俊之 (高18回)

令和元年
春の叙勲で瑞宝小綬章を受章
教育功労 元公立高等学校長



長嶋氏は国語科の教員として恵那高校に昭和45年～51年、昭和63年～平成9年の通算17年勤務され、その後各校の教頭・校長を経て、平成17年加納高校校長として岐阜県高等学校文化連盟会長を務め、平成20年退職となった。

青山 貫禅 (高17回)

恵那市長島町
令和元年
秋の叙勲で瑞宝双光章・藍綬褒章を受章
更生保護功労 保護司



40歳で保護司になり33年間、犯罪や非行を犯し保護観察処分となった人を見守り、相談に乗り、社会復帰を支援するボランティアを続けてきた。昨年、市民会館1階に更生保護サポートセンターができ、保護司が交代で週3日常駐する。ここを犯罪予防の拠点にしたいと、これからも支え合って生きる社会を目指し活動を続けている。

磯貝 あや子 (高19回)

愛知県岡崎市
令和元年
春の叙勲で瑞宝単光章を受章
統計調査功労 岡崎市統計調査員



国勢調査をはじめ、工業統計・商業統計などの各種調査を昭和55年から40年間にわたり100件以上実施してきた。記入前の用紙は無機質な物言わぬ用紙だが、記入後に回収された用紙は日本の今を話してくれる、まるで生き物のようだ。貴重な社会勉強をさせてもらっている。と現在も現役で活躍している。

北斗祭
9月25日(水)午後2時より北斗祭(城陵歌の作詞・作曲者を顕彰する会)が開催された。

瑞浪恵窓会総会
令和元年度瑞浪恵窓会総会は令和2年3月1日(日)に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため延期となりました。

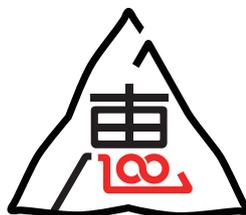


昨年度まで作詞者である吉田美一氏の命日にあたる8月11日に開催されていたが、参加者も高齢になり、炎天下での式典が危険であるということと、8月11日が祝日となり、学校職員が休日出勤で参加しなければならぬことから期日をずらし、秋の五輪塔供養にあ

令和2年1月11日、恵那峡ランドホテルにて、70回生同窓会が行われた。翌日に成人式を控えた同窓生168名、教員6名が出席、また、阿部伸一郎同窓会長からも急遽ご挨拶いただくなど、盛況の内に幕を閉じた。



わせて開催することとした。会場も花の木会館とし、まだ残暑の中ではあったが、快適な条件で開催することができた。会では阿部同窓会長、額校長の挨拶に続き全員で城陵歌を合唱し、作詞者吉田美一氏と作曲者小松孝蔵氏を偲んだ。



100th Anniversary Ena High School

100周年 ロゴマーク決定
恵那高校100周年広報委員会では100周年への期待を高めるためにロゴマークを作成した。2019年3月から4月に在校生からデザイン案を募集したところ6名から応募があり、5月の同窓会総会懇親会会場前で参加者に投票してもらい、最も票を集めた案を原案として加工を

OB・OG会
恵那高校ソフトテニス部

令和2年1月2日に恵那高校ソフトテニス部OB・OG会が行われました。寒い天候にもかかわらず、20名を超えるOB・OGが参加し、ソフトテニスの団体戦を行いました。現役の恵那高生を交えてペアを組んだり、チームメイトに声援を送ったりして、勝利に一喜一憂しながら、活気溢れる中で交流を深め



ました。毎年行われる行事ですが、近年では二十代の若いOB・OGも参加するようになり、和やかな雰囲気の中閉会しました。

同窓会報「城陵」について

平成13年より創立80周年記念事業に向けて発行が始まった本紙は、多くの同窓生の方々の協力金(1000円、2000円)に支えられ、発行を続けてまいりました。昨年度は会報発行のための協力金のご寄付が7000円を超え、今回、第20号の発行が実現できました。ご寄付をいただきました方々に、改めて深く御礼申し上げます。同窓会報「城陵」は皆様のご寄付によって支えられております。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会報協力金振込先

会報協力金口座(株式会社同窓会事務局代行口座)
ゆうちょ銀行
岐阜県立恵那高等学校同窓会
口座番号 00170141300048

母校のトピックス

科学部 ロボカップジュニア ジャパンオープン2019 レスキュー部門 第3位

平成31年4月27、28、29日、和歌山ビッグホエールで行われたロボカップジュニア ジャパンオープン2019に科学部の7名(26組 丸山高輝、23組 渡辺大樹、24組 漆原悠、25組 河地駿太郎、35組 稲垣和樹、36組 水野智貴、25組 杉山裕)が出場し、レスキュー部門で第3位に入賞しました。



ロボカップは、ロボット工学と人工知能の融合、発展のため、「サッカーの世界チャンピオンチームに勝てる、自律型ロボットのチームを作る。」という夢に向けて日本の研究者らによって提唱され、1997年の第1回大会から現在まで、ロボットの設計・製作を通じて次世代の科学技術者の育成を担ってまいりました。自作した自律型ロボットで競う、サッカー、レスキュー、オンステージの3つの競技部門があります。

恵那高校が出場するレスキュー部門は地震などの大規模災害時を想定して、ロボットが黒いラインに沿って様々な障害物を回避しながら目的の地まで行き、その後被災者に見立てたボールを救助することを目的としています。

中津川ノード大会、岐阜ブロック大会と進み、ロボットに改良に改良を重ねて挑んだ全国大会ではライントレースをほぼノーミスでクリアすることができ、第3位に入賞することができました。しかし、救助エリアではエリアにロボットが入れたものの、ボールを



上手く保持・回収できず時間切れになってしまいました。この結果を踏まえ、現在は次の大会に向けて、ボールをより多く回収できる救助機構を開発しています。

また次回からは日本リーグではなく、より難易度の高いワールドリーグへ挑戦し、上位入賞と世界大会への出場を狙います。

岐阜県合同課題研究発表会

7月11日(木)、初の試みとして岐阜県内の「理数教育フラグシップ校(通称F5H)」（岐阜高、岐山高、大垣東高、吉城高）の代表グループ生徒との合同発表会を恵那高校で開催しました。ポスターセッションの後には交流会も開かれ、他校の生徒と苦労話などでも花が咲き、刺激に満ちた一日となりました。



新聞文芸部 全国総合文化祭

7月28日、31日、佐賀県伊万里市で開催された第43回全国高等学校総合文化祭・2019佐賀総文に新聞文芸部の34組伊藤璃璃胡さんが俳句部門で参加しました。伊藤さんは昨年度の岐阜県文芸コンクール俳句部門で3位となり、今回の全国大会への参加となりました。初日は文学散歩。唐津コースに参加し、高浜虚子や大伴旅人などの句碑や歌碑がある鏡山から日本三大松原の一つ、虹ノ松原を見ながら唐津市内に移動し、「唐津くんち」で引き回される山車を見学しました。二日目は分科会で一日目の文学研修の決められた時間の中で詠んだ「吟行句」と、事前に校舎というテーマで詠んだ「課題句」について

交流をしました。句会ではそれぞれが住んでいる地域特有の句だったり、自分が気づいたことのない観点から詠んだりした句にたくさん触れることができ、全国のレベルの高さを知るとても良い経験になりました。



センター試験恒例の縁起物の菓子差入れ

例年と同じく同窓会から大学入試センター試験日の朝に菓子の差し入れがありました。今年度は、1月18日(土)、19日(日)の両日に試験会場(中京学院大学)で、「かち栗」と「キットカット(きつと勝つ)」の2種類の菓子を合格の願いを込めて3年生に差し入れをしました。『勝ち栗』は恵那南高校の生徒が考案したもので、恵那地区の高校生皆の気持ちがかもった



お菓子となりました。会場には同窓会から寄贈された、「頑張れ恵那高校生!」の横断幕、PTAから寄贈された「城陵魂」ののぼりも掲げられ、受験生を鼓舞しました。

事務局より会員の皆様へ
1 本年度も皆様の温かいご支援のもと、城陵第20号を発行することができましたことを衷心より御礼申し上げます。

会員の皆様におかれましては、事務局あてに御消息をお知らせ願う用紙が同封されており、お電話またはフアクスでも結構ですので、異動がありました場合にはご一報くださいますと幸いです。よろしくお願ひ申し上げます。

電話・ファックス
0573-12510253

2 新型コロナウイルスによる感染症予防のため、各種イベントが中止・延期されています。本会も例年5月第3土曜日に開催していた同窓会総会・懇親会を延期することとしました。実施期日については決定次第HP等を通じてご案内させていただきますので、よろしくお願ひします。